



新社会主義における新しい国家像

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

新しい現実には新しい技術文明という変化であり、これらへの落語は現実の2分化を与えるものである、政治はこれら先端技術における指導環境を求められると考える。

これらは中央行政における基準と指導内容の整備において地方行政が、その指導責任を行うことで、自己のビジョンという新しい国家像の構築を実現できるものである。

またベーシックインカムという新社会主義は考慮されるべきである。これらは巨大資本が占有する世界の経済システムへ、新資本主義という平等と強制という理念を提案することができるのである。

これら新しい社会主義思想は、世界の現実へ新しい世界のシステムとフレームワークを提示できるのである。これらは第3極の形成という選択を与えるものである。

これらは明確に競争と勝利という西洋的概念から、共生と融和という東洋的概念における新たな世界への参加を提示するものである。

これらは国内における先端企業の有するソフトハード資産を活用し、ソサエティ5.0における新しい社会転換を中央行政と地方行政において実現することも同時に行うものである。

これらは新しい政治システムとともに、世界における現実と同じ変革を実現するものである。

これらは政治のリーダーシップを要求し、世界の趨勢への到達と新しい国家像を提示する。

これらは、財政の崩壊的な現実から、民間への譲渡や民間の主導と産官連携における、次世代社会への転換を実現するものである。

これらは新たな財政計画を要求され、経済再策とともに、将来における健全な国家形成を求めるものである。

これらは財政の再建と経済の転換を同時に、社会転換への内需と共に提案するものである。